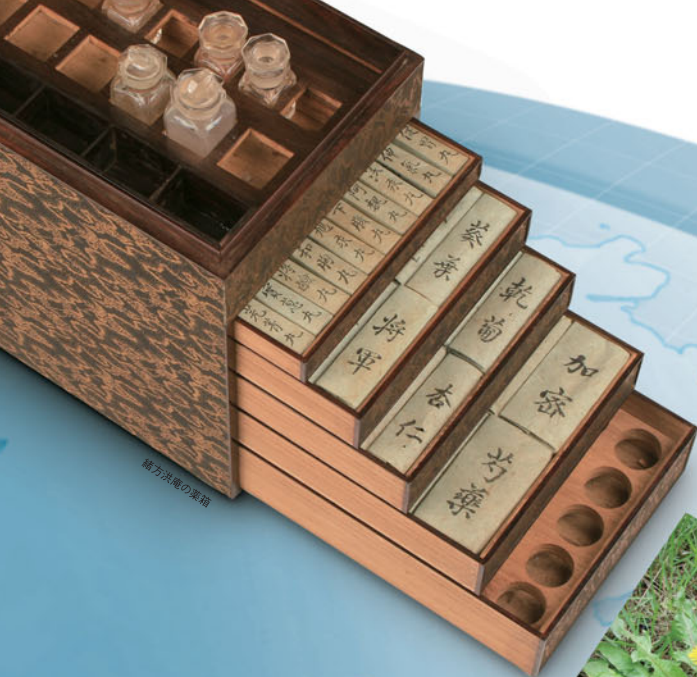


大阪大学総合学術博物館

第3回特別展

21世紀の薬箱

新しい医療文化の形成



タンポポ



心筋細胞

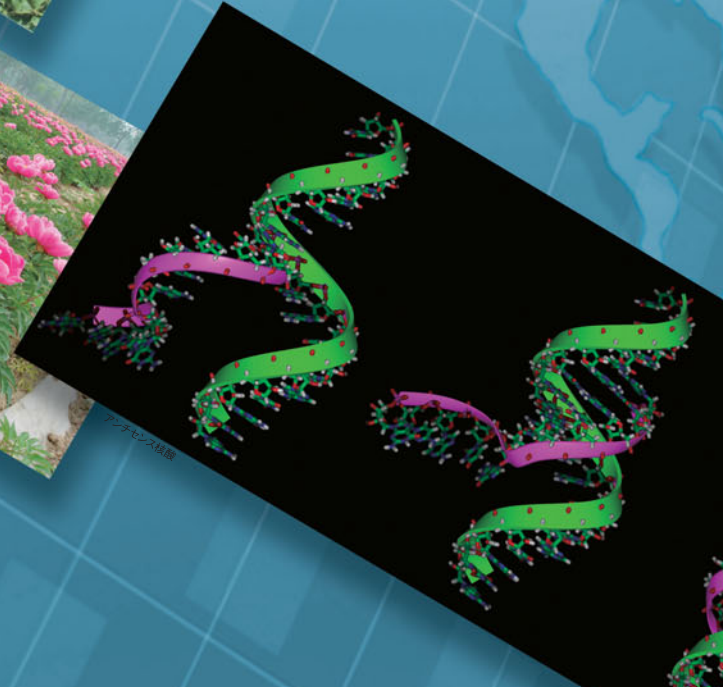
シロアリ



甘草



芍薬



アンチセンス技術

2008年10月31日(金)～12月20日(土)

大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館

10時～16時30分 入場無料

〔日・祝は休館。ただし、11月2日(日)、3日(祝)は開館〕

〔主催〕大阪大学総合学術博物館

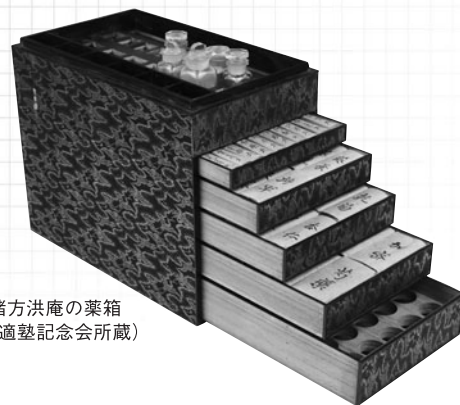
〔共催〕大阪大学大学院薬学研究科

〔協力〕大阪大学21世紀懐徳堂、適塾記念会、くすりの道修町資料館、少彦名神社、乃村工藝社

〔連絡先〕大阪大学総合学術博物館・事務室 TEL06(6850)6284

21世紀の薬箱

新しい医療文化の形成



緒方洪庵の薬箱
(適塾記念会所蔵)

薬物療法は古今東西変わらない治療手段です。大阪大学の源流にあたる「適々斎塾」を主宰した蘭方医、緒方洪庵が愛用した薬箱が今も適塾に残されています。使用されていた薬は当時最先端の蘭方と漢方生薬・製剤で、その当時の新しい医療に対する洪庵の熱き思いと挑戦を雄弁に語っています。また、中国渡来の本草学を日本独自のものと進化させる過程で、採薬を主とする物産学的研究を薬学者が担い、高品質の国内産薬物の開発や生産に貢献してきました。近世の物産会は知識の流布と技術向上を促進し、製薬業の萌芽へとつながります。さらに、21世紀を迎えた今、創薬をはじめとする医療科学を総合的かつ先端的手法により進展させることは、人類社会の共通の課題です。

本特別展では、新しい医療文化の形成の鍵となる「洪庵の薬箱」から、大阪大学の国際的な薬物探究の歴史をたどります。そして、21世紀の薬箱にふさわしい新たな薬物の探索・薬物治療の開発に関する最先端の研究を紹介します。

特別展に関連したイベント

ミュージアムレクチャー

【定員40名(当日先着順)】

第8回ミュージアムレクチャー

日時：11/12(水)・12/13(土) 15:00～16:30

演題：「洪庵の薬箱に秘められた最先端の医療 ～医歯薬系学生のための特別レッスン～」

講師：総合学術博物館(兼)薬学研究科 高橋 京子・高橋 直子

第9回ミュージアムレクチャー

日時：11/22(土) 15:00～16:30 演題：「タンポポのなぞ」

講師：昭和薬科大学 高野 昭人

第10回ミュージアムレクチャー

日時：12/6(土) 15:00～16:30 演題：「五感で楽しむ ～ハーブの世界～」

講師：薬学研究科附属薬用植物園 道下 雄大

公開講座

大阪大学公開講座「くすりと医療」

日時：11/29(土) 13:00～14:30

場所：大阪大学コンベンションセンター
1階研修室

演題：「和漢薬の多様性:品質と作用」

講師：総合学術博物館(兼)薬学研究科
高橋 京子

事前申込必要・問合せ先・薬学研究科庶務係
TEL.06-6879-8144(直通)

2008年10月31日(金)～12月20日(土)
大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館

10時～16時30分 入場無料

日・祝は休館。ただし、11月2日(日)、3日(祝)は開館

【主催】大阪大学総合学術博物館

【共催】大阪大学大学院薬学研究科

【協力】大阪大学21世紀懐徳堂、適塾記念会、
くすりの道修町資料館、少彦名神社、乃村工芸社

〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-20

TEL.06-6850-6284

<http://www.museum.osaka-u.ac.jp/>



■交通のご案内:
阪急宝塚線「石橋駅」下車、
徒歩10分

※駐車場はございません。
公共機関をご利用ください。
また、当館はバリアフリーですので、
障害者向駐車スペースをご活用ください。



全会期中、特別に道修町の
神農祭(少彦名神社、
例年11月22日、23日)
の薬玉飾りをロビーに飾
ります。

